

高強度繊維ロープスリング 取扱説明書

繊維製ロープですので、日本繊維ロープ工業組合監修の繊維ロープの取扱説明書の注意事項に準じてご使用ください。また当製品を安全に、かつ有効にご使用いただくために下記事項を必ずお守り下さい。

1.使用上の注意

【スリングの選定】

- 鋼製ワイヤロープに比べて伸びが大きいため、伸びを考慮した揚程、長さのものを使用して下さい。
- 伸び率の異なる他の素材のロープとの併用は、吊り荷バランスを崩すため危険です。

【吊り作業時の注意事項】

- 角のあるものには、必ず補強パッドもしくは当て物を使用し、横滑りしないようにして下さい。
- 荷物はバランスよく吊って下さい。
- チョーク吊りをする場合は深しぼりして下さい。
- 荷物を吊ったままで、長時間放置しないで下さい。特に角やエッジ状のもので加圧した状態では危険です。
- ロープを結んで使用しないで下さい。
- 他の吊り具や補助具類と組み合わせて使用するときは、連結部分でスリングが損傷しないようご注意ください。
- ねじれ、又はロープ同士絡み合った状態では使用しないで下さい。**

【ご使用環境】

- 使用環境は高温を避け、高温環境下での長時間の使用、及び常温を大幅に超えての使用はしないで下さい。
- 使用温度は80℃以下とし、60℃以上で使用する場合は使用荷重を1/2に設定してください。**
- エンジン・マフラー・ガス切断や溶接直後の材料など、熱源との接触をしないようご注意ください。
- 化学薬品（酸・アルカリ）には使えません。
- 水、油などに濡れると滑りやすくなりますのでご注意ください。

【取扱い及び保管】

- 粗悪な地面や床の上を引きずらないで下さい。
- 荷物の下から引き抜くときは、スリングを損傷しないようご注意ください。
- スリングは、なるべく熱・日光・薬品などの影響を受けない場所（冷暗所）に保管して下さい。
- 屋外で使用する場合は、日光（紫外線）によって徐々に**強度**が低下しますので、外観上の異常がなくても一定期間を経たものは廃棄して下さい。
- 外層の染色系の色が判別できなくなったら、使用を中止して交換をご検討ください。
- 使用中、表面糸が破損し内層繊維が出てきたら直ちに使用を中止して下さい。
- 摩耗や損傷などによって、ストランドの境界が不明瞭なものは使用しないで下さい。
- 点検の結果、廃棄することになったスリングは、補修したり使用荷重を減らすなどして再使用することは避けて下さい。
- その他、特殊な状態で使用する時は弊社までご相談ください。

2.点検(廃棄)基準

高強度繊維ロープスリングは下記の日常点検(使用前)及び定期点検(1ヶ月毎の点検を推奨)を必ず行ってください。

点検項目	日常点検	定期点検	点検方法	点検基準
表面糸の損傷	○	○	目視	・損傷等により、表面糸の損傷が著しいもの ・損傷等により、内層繊維が露出しているもの
外観異常	○	○	目視	・熱や薬品などによる著しい変色、着色、熔融、溶解などが認められるもの ・摩耗や損傷などにより、ストランドの境界が不明瞭なもの ・外層の染色系の色が判別できないもの ・汚れによって、使用の可否が判断できないもの
ロープの異常	○	○	感触・目視	・部分的に硬くなって、太さの不均一さが目立つもの ・ロープの型崩れが酷いもの ・サツマの抜けが生じているもの
使用期間		○	管理台帳やロットNOIによる確認	・使用状況によって、目立った損傷や外観の異常が無くても、使用開始後の期限が使用期限を超えるもの ①屋内で使用する場合、使用開始後3年を経過したもの。 ②常時屋外で使用する場合、使用開始後1年を経過したもの。 ※使用期間は常時一般的な環境下で使用する場合であり、紫外線や熱が影響する過酷な環境下では合成繊維の劣化を促進するため、使用期間は短縮されますので、上記使用期間はあくまで目安です。